



# 自分のストーリーを語る意味

guest



青海エイミー

navigator



安藤哲也

TAKIBI店主

「自分の体験を再構成し『物語』の形にすることはとても興味深いことです」。キャリアも取柄もない、真の友達もいない。毎日行き詰っているなあと感じる貴方に向けて、初小説『ジミー』が好評でももなく、『本当の私を、探してた。』（メタ・ブレン）を上梓する青海エイミーさんが、「自分のストーリーを語る意味」について静かに語ります。「ドウセ、ワタシハ、コノテイド」。そんな声もう聞こえなくなるかもしれません。

※本イベントは新刊の発売に先駆けてTAKIBIで特別開催するものです。

## 青海エイミー

2011年マレーシア移住。クンダリーニヨガに偶然出会い、ティーチャーとなる。2020年コロナ禍でオンラインクラスにしたのをきっかけに「運動も英語も苦手な私が、海外でヨガティーチャーになる体験談」をnoteにつづる。「ラストは号泣」「勇気をもたらった」など大きな反響を得る。（『本当の私を、探してた。』の原型）2021年、初めての小説『ジミー』を書く。『ロッキング・オン』創刊者の一人である橋川幸夫氏、メタ・ブレン社の太田順子氏らに絶賛され翌年5月出版。『本当の私を、探してた。』（ほんわた）は著者の2冊目で、「本当の私」を巡る自伝的ストーリーである。

2023 / 9 / 20 (wed) 18:30-20:30

当日はイベント終了後、著書のサイン販売会があります。

- | 場所 | Books&Coffee谷中 TAKIBI (台東区谷中2-5-15)
- | 定員 | 10名(先着)
- | 参加費 | 2,000円(1ドリンク付)



お申込みはメールにて

ando@takibi.work

サイトの申込フォームからも受付中

<https://takibi.work/>